



Issue on June 1, 2025

もりこう

VOL.55

発行所：大森学園同窓会
大田区大森西3-2-12
大森学園高等学校内
お問い合わせ：TEL 03(3762)7336(代)
FAX 03(3766)0314
Mail：info@moriko-kai.jp
URL：https://www.moriko-kai.jp/
発行責任者：矢内英彦
編集責任者：矢内英彦
題 字：山崎正男先生



静岡茶の茶祖と呼ばれる聖一国師の生家「米沢家」にある樹齢 300 年以上の大しだれ桜。
ここの茶畑に米澤理事長先生の本家がありました。

© JA Shizuokashi.



Contents



- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 2 会長挨拶 | 12 令和 6 年度 潮の光奨学基金寄付金 |
| 2 校長挨拶 | 12 令和 6 年度 もりこう会寄付金 |
| 3 米澤理事長先生を囲んで | 13 同窓会役員名簿 |
| 3 木邊先生を訪ねて | 13 キャリアセミナー開催 |
| 3 安達先生の陽だまりカフェを訪ねて | 14 卒業生の広場 |
| 4 令和 6 年度 クラブ活動報告 | 14 卒業生便り |
| 10 令和 6 年度 ボランティア活動報告 | 15 編集後記 |
| 11 令和 6 年度 進路報告 | 15 訃報 |
| 12 令和 6 年度 もりこう会決算書 | 16 令和 7 年度もりこう会総会・懇親会のお知らせ |

会長挨拶

もりこう会 会長 矢内英彦



会員の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。日頃は同窓会活動に温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

母校は前身の工業学校から戦後の学制改革「昭和23年（1948年）」で新制の高等学校「大森工業高等学校」となり、以来工業界を中心に多くの人材を送り続けております。母校はその後、平成17年に普通科を新設、校名を「大森学園高等学校」に改め、2年後には普通科は共学となり、今日では工業、普通の両科を擁する学園でありますことは会員諸氏ご承知の通りであります。

今年も同窓会活動を通じ、多くの皆様と交流できる機会を楽しみにしております。親睦会、記念行事、インターネットを活用した情報発信などを企画中です。これらの活動が成功するためには、皆様一人ひとりのご参加とご協力が欠かせません。

また、同窓会は世代を超えた交流の場でもあります。卒業生としての誇りを胸に、新しい繋がりを築きながら、母校への恩返しとなる活動を共に進めていきましょう。

これからも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

昨年と同様、総会後は懇親会を実施いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げ会長挨拶といたします。

不明な点については、もりこう会事務局（大森学園高等学校内）
〔電話〕03-3762-17336〕へお問い合わせください。

校長挨拶

「卒業生の皆様へ」

校長 石川和弘



卒業生の皆様、また、旧職員の皆様、お変わりございませんでしょうか。それぞれ各所で活躍のことと拝察申し上げます。私のことをお話しすると、校長になり1年が過ぎました。この1年を振り返ってみると、とにかく目の前のことをこなすだけで精一杯だったような気がします。2年目となる今年度は、今まで以上に向上心を持ち、全教職員と力を合わせて大森学園を盛り上げていこうと思っております。

4月6日に行われた入学式では、新たに321名の新入生が本校の生徒となりました。日曜日だったこともあり、460席用意していた保護者席がうまってしまい、臨時でパイプ椅子を用意したり、会場の外にパブリックビューイングを設置したりと、誘導の先生が大活躍でした。翌日の7日から9日までの3日間は新入生オリエンテーションです。理事長先生の講話を皮切りに、各先生方に学校生活に必要な内容を詳しく説明していただきました。クラブ紹介では、各クラブ員が趣向を凝らして新入生にアピールをしておりました。たくさん入部してくれるといいのですが。

4月13日、国内では20年ぶりになる日本国際博覧会、通称大阪・関西万博が開催されます。「命輝く未来社会のデザイン」がテーマだそうです。本校でも7月13日、14日に希望生徒で見学に行く予定です。きっと良い思い出になることと思います。

今年は戦後80年の年になります。始業式のときに生徒に話したのですが、80年前の4月15日、くしくも本校の創立記念日の日ですが、学校の近辺がアメリカ軍の空襲により、焼け野原となりました。そして大森機械工業徒弟学校創立当時大変なご苦労の中建築された校舎が全焼してしまいました。以下、「米澤勇作随想集」からの抜粋になります。

「創立後戦災災厄も色々波瀾があったが、兎に角学校加盟者一同、特に其内主立つ数人の協力により、先づ先づ大した事故なく進んだのであるが、二十年四月十五日の空襲により一物もなく焼け尽した後の苦労は一方ならぬものであった。（中略）私も当時財団法人大森工業学校の理事長の立場から、解散すべきか、取捨進退に迷ったが、矢張り責任上、復興に決意したのであるが、気持ちは決めても金は出来ない、毎日頭を痛

めるだけであつた。」その後山中電機の工場建物を譲り受けることになったのだが・・・。「文部省の戦災学校復興貸付金、信用組合からの借入、生徒父兄からの学校債等合計しても、移築費の半ばに程遠い、東京で貸す人はなし、已むを得ず郷里の親戚廻りをし、残額の大部分を調達したが、一軒で全額を借りる事は出来ず、数軒を廻って借りて歩いた、其れも一回で全部調達は出来ず、十回以上も郷里へ足を運んだであろうか、辛うじて建築会社に移築費全額を支払うことが出来たが、これが最も困難した建築である。」その後も想像を絶するような苦労は続いたようですが、米澤勇作先生の熱意と、様々な人たちのご尽力により現在の大森学園高等学校が存在しております。生徒には「君たちの先輩たちは、このような苦難を乗り越えて現在の礎を築いてくれました。大森学園高校と卒業生である諸先輩たちを誇りに思ってください。」と伝えました。

今年度も何かとお力添えいただくこともあるかと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



米澤理事長先生を囲んで

令和7年3月3日（月）に母校の卒業式があり、米澤正倫理事長と渡辺副会長、秋葉副会長、矢内会長の写真を撮影しました。



木邊先生を訪ねて

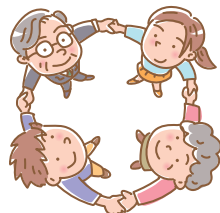
元教員の真宗木辺派前門主・木邊圓慈（きべ・えんじ）上人を訪ねて、令和6年10月12日に矢内会長が錦織寺を表敬訪問しました。

阿弥陀堂、天安堂をご案内いただき、千百年の歴史の深さ、親鸞聖人との関係などの話をお聞きしました。

安達先生の
陽だまりカフェを訪ねて

元副校長の安達先生を訪ねて、令和6年8月4日に大谷顧問と矢内会長が陽だまりカフェを訪問しました。

佐藤先生が来られて、安達先生の奥様の手料理を堪能しながら、昔話や近況に花を咲かせ、終始和やかな雰囲気でした。



右から、安達先生、大谷顧問、佐藤雄之先生、矢内会長、安達先生の奥様



令和6年度 クラブ活動報告



運動部



サッカー部

【連盟大会】

4月

●関東高校サッカー大会東京都予選

1回戦 ●0-1 都・葛飾野

●東京都高等学校総合体育大会支部

予選2回戦 ○4-1 都・大山

5月

●東京都高等学校総合体育大会支部

予選3回戦 ○3-1 海城

●東京都高等学校総合体育大会

1次トーナメント1回戦

○5-1 都・深川

●東京都高等学校総合体育大会

1次トーナメント代表決定戦

●1-2 早稲田実業

9月

●全国高校サッカー選手権大会

東京都1次予選1回戦

○33-0 都・千早

●全国高校サッカー選手権大会

東京都1次予選2回戦

○3-0 文化学園大杉並

●全国高校サッカー選手権大会

東京都1次予選代表決定戦

○8-0 都・久留米西

10月

●全国高校サッカー選手権大会

東京都2次予選2回戦

●1-2 東海大高輪台

【リーグ戦】

●T4リーグ

4勝5敗 Bグループ 6位

順位決定戦 ●2-2 (PK5-6)

東海大高輪台 総合12位

●地区I部リーグ

7勝2敗 優勝

●地区II部リーグ

5勝4敗 4位

(※2025年度T5へ昇格)

●地区III部Bリーグ

5勝2敗2分 3位

TOPチームこそ目指していた結果を出す

ことができませんでした。48名の3年生

全員が勝利に向けて素晴らしいチャレンジ

を見せつけて、2年生以下後輩たちがそ

の姿についていき2ndチーム3rdチー

ムがそれぞれリーグ昇格を掴んでくれまし

た。

野球部



「明るく 謙虚に 誠実に」をモットーに、「伸びしろ東京No.1」のチームを目指して日々努力していきます。我々を目にしてくださる方々に何かエネルギーが湧いてくるような取り組みをしていきたいと思ひます。引き続き応援を宜しくお願いします。

(監督／顧問…小倉鋭也)

●令和6年度春季東京都高等学校野球大会

1次予選 対世田谷学園 2-7

●第106回全国高等学校野球選手権大会

東京都大会

2回戦 対正則 5-6

(10回延長タイブレーク)

●令和6年度秋季東京都高等学校野球大会

ブロック予選 対桜丘 10-0

(5回コールド)

代表決定戦 対西 4-0

本大会

1回戦 対昭和第一学園 4-5

今年度は「夢叶頂戦」というスローガンを掲げて、3年生33名・2年生15名・1年生14名の62名で活動してきました。遠方からの通学者もあり、多くの志高い部員が門を叩いてくれて大所帯となり、チーム内の競争も激しいものになっています。

一年間、厳しい組み合わせということもあり、勝ち上がることが出来ませんでした。

しかし関東圏内の強豪校とも互角に戦える

力と大きな伸びしろがあったチームでした。

選手権大会は大田スタジアムでの生徒・保

護者・卒業生などの大応援団が選手の力と

なりました。ご声援ありがとうございました。

来年度、春季東京都大会は本大会からの出

場となります。最低でも選手権大会のシー

ドを確保し、選手権大会では過去最高戦績

(準優勝)を塗り替えて東京を制するチー

ムとなる決意を持っています。

平日は授業終了後に近隣のグラウンドに移

動して練習、週末には関東各地の強豪校と

の練習試合を行っています。年末には有隣

寮(茨城県稲敷市)で冬季強化合宿を実施

し心身ともに追い込んで大きく成長しまし

た。

野球人口の減少が叫ばれる昨今ですが、

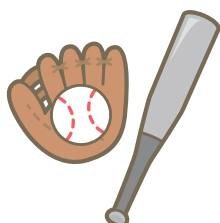
学校や地域から応援される嬉しいチームと

なり、野球の素晴らしさを体現

できるチームとなります

ます。今年度も多く

のご声援ありがとうございます。



(監督／顧問…石黒隼)



令和6年度は3年生10名、2年生5名、1年生4名、合計19名で活動しました。3年生は初心者からテニスを始めた部員が多くに多い代でしたが、3年5月中旬の東京都高等学校テニス選手権大会（団体の部）で引退を迎えるまで、途中で退部してしまう部員もおらず、最後までそれぞれがチームの一員として活動していました。3年最後の試合となった団体戦（ダブルス1・シングルス2）には2年生も2名出場し、3年引退後は1つ下の代の中心となってチーム全体をまとめています。今後の成長が楽しみです。

戦績としては、5月中旬の東京都高等学校テニス選手権大会（団体の部）では初戦敗退という結果でした。私学リーグ戦でも



硬式テニス部



卓球部

思うような結果を残すことができず、後輩に1つ上の部への昇格を託すこととなりましたが、敗戦から学んだことを次戦に活かしていきたいと思います。今後も経験者と初心者、先輩と後輩が切磋琢磨し、互いに成長し合える関係を築けるようなチームを目指して活動していきますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

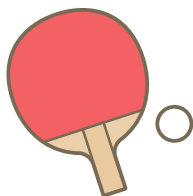
（顧問…鳥谷志乃）

今年度は卓球部史上最高の団体戦で東京都ベスト32、シード権をとることができました。関東予選、インターハイ予選と2回連続でベスト32をとれたのは本当に喜ばしいことです。しかし新人戦でシード権を落としてしまいました。また大田区大会では、毎回入賞者（優勝3位）を出せました。

令和7年度はシード権を取り返すのを目標に、部員一丸となって頑張りたいです。ただ人数が4人で、団体戦に出場できるギリギリなので、1年生にたくさん入ってもらいたいです。

大森学園卓球部OB・OGの皆様も、

励みになりますので、よろしければ子どもたちが頑張る姿を見に来てください。



（顧問…佐藤明彦）



バドミントン部

令和6年度は3年生が14名、2年生が7名、1年生が9名、合計30名の部員数で活動を開始しました。高校入学と同時にバドミントンを始める部員の数の方が圧倒的に多い中で、毎日懸命に練習に取り組んでおります。各部員一人一人日々の練習に懸命に打ち込むことが出来たと思います。

関東大会予選（2複1単〈団体戦〉）の結果は、男女ともに2回戦進出、3年生最後の大会であるインターハイ予選（2複3単〈団体戦〉）では、残念ながら男女ともに1回戦で敗退してしまいました。しかしながら、続く新人戦（2複3単〈団体戦〉）では、女子は3回戦までコマを進めることができ、東ブロックベスト32という結果を残すことができました。

部活動を通して、お互いが協力しながら支え合えるような関係を築き上げられるように顧問も伴走、補助していく所存でありますので、今後ともご支援、ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

（顧問…岡本卓也）



剣道部

今年度は2年生1名、1年生2名（男子3名、女子0名）で活動しました。厳しい稽古を通して互いを尊重し、学び合い、教え合いながら少しずつ自律した剣士へと育っています。

部員が少なく、また剣道場がないという限られた環境で稽古しなければなりません。その中で部員たちは互いに刺激し合い成長しております。今年は部員の怪我などもあり、大会に出場できる機会がほとんどありませんでしたが、昇段審査に向けて、基礎基本を中心に理論と実践の往還による剣道を目指して稽古してきました。今年度は3年生2名が三段、2年生1名が二段に昇段しました。卒業生に稽古に参加していただくことも増え、さらなる成長が期待できます。今後とも応援、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（顧問…村井俊輔）



男子バレーボール部

- 関東予選 ベスト16
- 関東大会 出場（山梨県）
- インターハイ予選 ベスト16
- 都私学大会夏 ベスト16
- 全日本選手権大会 ベスト16
- 都新人一次大会 3回戦

3年生が、残してくれた結果を越そうと新チームがスタートしました。今回大森学園として6年連続関東大会出場も果たすことができました。

部員も40名を超え、大所帯となったのは入りうれしい限りです。平均身長がそれほど高いわけでもないのでレシーブ力をあげ、拾ってつなぐバレーを追求しています。これからも精進していきますので応援の程よろしくお願いいたします。

（顧問…尾島寛）



陸上競技部

今年度は3年生が2名、2年生が2名、1年生が4名で活動しました。陸上競技には、短距離・中長距離だけではなく、跳躍・投擲・ハードルといった様々な専門種目があります。みな各々の専門種目に分かれながらも、互いに切磋琢磨してきました。

今年度は、男子やり投げで1名が都大会出場を果たしています。令和6年度東京都高等学校陸上競技50傑の男子やり投げ第26位に選出されました。

限られた練習環境の中で、工夫してトレーニングに打ち込んでいました。冬季トレーニングでは、砂浜や近隣の公園まで足を運び、そこからできるトレーニングやどうすれば練習の質をあげられるか考え、生徒たちもメニューを作成していました。休日練習では競技場へ足を運び、専門的な技術トレーニングや走持久力を高める練習を取り組みました。

来年度は1人でも多く都大会出場やさらに上位の大会に出場できるように努力していきます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

（顧問…竹下直秀／和泉夏妃）



男子バスケットボール部



今年度は3年生が7名、2年生が6名、1年生が8名で活動しました。
選手各々が主体的に目標に向かって努力できる環境、また部活動に対して真摯に取り組める環境づくりを目指し、実のあるミーティング、週4回の練習を通じて個人としての成長とチームとしての成長を図りました。また、他校との練習試合を通して自分たちのチームの課題点を見つけるとともに、日々の練習の成果を実感してきました。

公式戦は4月（関東予選）、5月（IH予選）、9月（第7支部私学大会）10月（新人戦）、3月（アースフレンズカップ（大田区大会））で5度あり、新人戦では3回戦までコマを進めることができました。3月行われた大田区大会ではベスト4に入ることができました。
これからも日々練習を重ね、部員同士切磋琢磨してチーム力を高めていくとともに良い結果を報告したいと思います。OB・OGの皆様、引き続き応援よろしくお願ひ致します。
（顧問…名取純哉）

女子バスケットボール部

現在1・2年生で計5名（2人は大怪我のため離脱）、日々メニューを工夫しながら行っています。週末はOB・OGが練習に参加してくれます。会える嬉しさはもちろん、ゲーム形式の練習ができるため感謝しがあります。

今年度の戦績は、唯一表彰状を狙える「夏季大会」で4年ぶりに3度目の決勝戦へ進みました。部員達は力を出し切りましたが私の力不足のため、今回も準優勝となりました。令和7年度こそ、いい報告ができるよう一層努めます。他の公式戦の目標は3回戦突破。引き続きチーム一丸となって練習に励みます。ご都合が合えば大会等足を運んでいただき、部員達の懸命な姿・熱い

戦いをご覧ください。人数が少ないですが、意外とやります。

● 関東予選東京都大会（4月）
2回戦 VS 文京学院大女子・和洋九段女子合同チーム

128 | 63 勝

3回戦 VS 昭和第一学園

53 | 82 負

● インターハイ予選東京都大会（5月）

★3年生が2名引退しました。

1回戦 VS 大妻

59 | 55 勝

2回戦 VS 都立保谷

61 | 88 負

● 夏季大会（8月・16チームでのトーナメント）「準優勝」 ★3年生が4名参加し、今大会で引退しました。

1回戦 VS 都立杉並

68 | 33 勝

2回戦 VS 大妻中野

59 | 33 勝

準決勝 VS 日大二高

57 | 55 勝

決勝 VS 都立石神井

49 | 55 負

● 新人戦（11月） ★全試合5名（うち初心者2名）、フル出場で戦いました。
1回戦 VS 明治大明治

65 | 52 勝



2回戦 VS 都立日野台

72 | 66 勝

3回戦 VS 都立田無
棄権

※修学旅行で人数が揃わなかったため
（顧問…佐藤緑子／小平晃大）



チアリーディング同好会



今年度は3年生2名、2年生5名、1年生2名で活動しました。

主な活動は学園祭でのステージ発表、野球応援、体育祭での演技発表です。一番の発表の場である学園祭ではイベントホールで演技し多くのお客様に拍手をいただきました。また、8月にはJAPANCUP 2024日本選手権大会エキシビジョン部門に出場いたしました。今後はよりレベルの高い演技ができるよう部員一丸となって活動してまいりたいと思います。

今後とも応援、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(顧問…宮崎紀子)

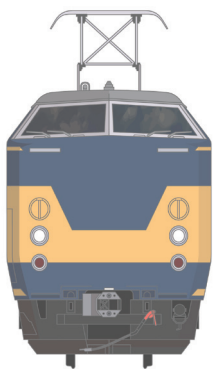
文化部




鉄道研究部

令和6年度は3年生6名、2年生3名、1年生7名の合計16名の部員で活動しました。近年では、おもな活動内容として学園祭に向けた大型レイアウト製作やNゲージ車両製作、部員が持ち寄っての鉄道模型運転会など、週2回の活動を行っています。全国高等学校鉄道模型コンテストに向けて作品の製作を行い、本年度も作品を出展しました。ベストクオリティ賞という結果でした。本年度も部員たちは多くのことを学べたと思います。「撮り鉄」の部員も増え、個人で積極的にコンテストに応募するケースも出てきています。伝統を大切にしながらも、部員の興味・関心に合わせて活動内容も少しずつ変化し続けています。ぜひOBの皆様も機会がありましたら、本校の鉄道研究部にお立ち寄りください。お待ちしております。

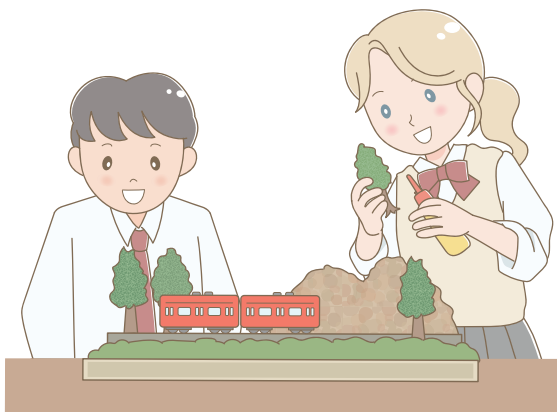
(顧問…須藤健)




模型部

令和6年度は、2年生3名が中心になって模型作成を行いました。細部を彫刻や加工で仕上げ表面をサンドペーパーで整えた後、塗装や装飾も施しました。また、各々の得意分野だけでなく学園祭にお越しになる子ども向けの模型(ジブリ)も作成しました。人数は少ないですが、和気あいあいと取り組んでいます。

(顧問…山之井義和)




ブラスバンド部



夏のコンクールにおいて金賞・最優秀賞を獲得するという目標のもと今年度がスタートしました。目標達成に向けて3学年が一丸となり、見事受賞することができました。冬のアンサンブルコンテストでは、打楽器パートから3年生2名、2年生2名の4名が出場。これまでで一番の技術・完成度の高さを見せ、金賞獲得の可能性を大いに感じさせてくれましたが、一昨年度昨年度に続き惜しくも銀賞となりました。応援してくれた皆様1年間ありがとうございました！次年度も宜しくお願いします！

【今年度大会実績】

●第64回東京都高等学校吹奏楽コンクール

C組金賞(最優秀賞)

●第48回東京都高等学校

アンサンブルコンテスト

打楽器四重奏銀賞

(顧問…赤松祐治)



自動車部

● 2024 En-1 MOTE GIGP

9月14日(土)・15(日)

栃木県にあるモビリティリゾートもてぎで単三形充電池乾電池40本を動力源とした競技が行われました。今年度より競技内容が変更になり予選がなく『フルコース逆走行』3回のタイムアタック合計で競うことになりました。コースに慣れないためか、タイムを縮めることができませんでした。



また、2回目はコースアウト、3回目はスピンしてしまいこのような結果になりました。

タイムアタック 1回目 8分55秒

タイムアタック 2回目 10分10秒

タイムアタック 3回目 9分50秒

総合 30位/71台・高校11位

32位/71台



● Hondaエコマイレッジ2024
第43回全国大会 10月12日(土)・13日(日)
栃木県にあるモビリティリゾートもてぎ『スーパースピードウェイ』にて、エコマイレッジマラソン競技の全国大会が開催されました。この競技は、決められた距離を時間以内に走行し、燃料消費量の少なさを争います。本校からは、2台が出場しました。B号車は昨年初完走しましたが、今回は2週目にバンクでリタイヤしました。

A号車 796km/ℓ 12位/68台
B号車 リタイヤ

Youtubeにて
大会様子が見れます。



今年度も引き続き各種大会に向けて頑張っておりますので、応援よろしくお願いします。
(顧問…齋藤正英)



ハンドメイド同好会

今年度のハンドメイド同好会は例年と少し活動内容を変更し、お菓子作りだけでなくお料理も行いました。家庭料理をはじめとし、各国で流行っている料理を研究し、たまには失敗しながら活動を行いました。おいしくできた時の喜びは大きく、また失敗したときの反省は部員全員で行うなど、忍耐力も習得した1年間となりました。

(顧問…和泉夏妃)



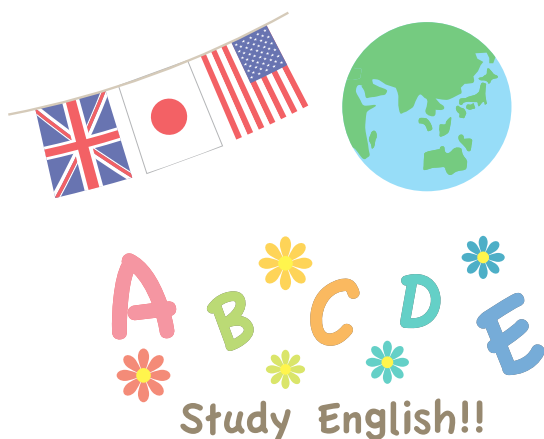
ESS同好会

ESS (English Speaking Society) は、英語を話すことを目的とした部活動です。令和6年度は新たに4名の新入生を迎え、週に2回、Jawan Thompson 先生と、9月に本校に着任したA.L.T.のCharles Parkman 先生とともに、英会話のテクニクを学びながら実践し、英語を使ったゲームなどを楽しんでいます。学園祭では、アメリカの屋台文化をテーマにしたホットドッグの模擬店を出店しました。大盛況となり、2日目の昼頃には完売するほどの人気でした。また、日本語を学んでいる海外の高校生とオンラインで交流し、国際的なつながりを深める貴重な機会も得ました。

一般的にESSはスピーチ、ディベート、ドラマのコンテスト出場を目指して活動しますが、近年はこうしたコンテストの開催が減少し、探究活動を英語で発表するなど、英語をツールとして活用する形式のコンテストが増えていきます。そのため、外部のコンテストへの参加は容易ではありませんが、私たちは英語力を高めることに加え、英語を通じて地域社会や国際社会の多様な人々とつながる喜びを大切にしながら活動を続けていきます。そして、将来的にはこうしたコンテストにも挑戦し、結果を残せるよう努力していきたいと考えています。

今後もESS同好会の活動へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(顧問…木村健太)



令和6年度

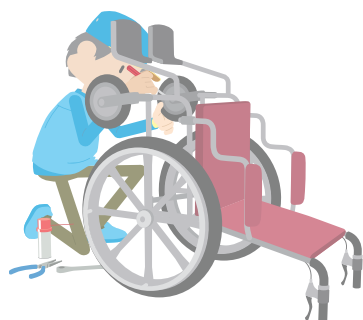
ボランティア活動報告



車いすメンテナンス

今年度は3年生2名、2年生1名、1年生2名で活動しました。昨年度から活動を再開しました訪問修理は、昨年度よりも訪問回数を増やし定期的に修理・メンテナンスの活動を行うことが出来ました。しかし、気温等の関係で学校に持って帰って来ての作業が多かった為、来年度の目標としては、現地でも作業が出来るように工夫を凝らしていきたいと思っています。また、技術向上のため車いすの修理だけでは無いいろいろな事にも挑戦をしていきたいと思います。

(顧問…高橋慶太)

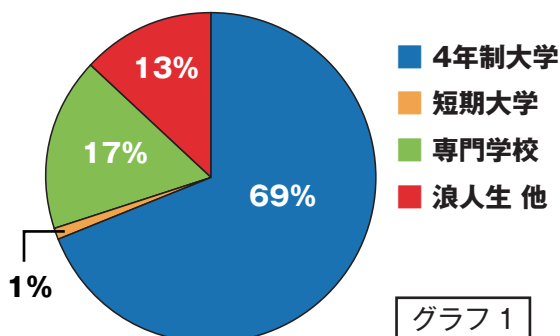


令和6年度 進路報告

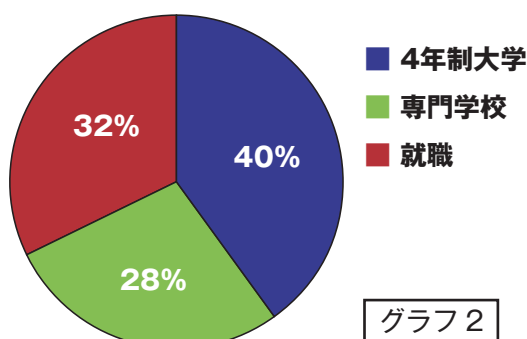
もしこう会の同窓生の皆様にはますますご健勝にて、各方面にご活躍のことと拝察申し上げます。進路指導部より、茲に令和6年度卒業生の進路状況をご報告させていただきます。

この春の卒業生総数は「273名」。「グラフ1」でわかるとおり、普通科では「69%」が4年制大学へ進学し、短期大学、専門学校への進学割合がそれぞれ「1%」「17%」という結果になりました。「13%」の生徒が、惜しくも浪人して再チャレンジすることと

普通科進路状況



工業科進路状況



なりましたので、連絡をとりつつ見守っていきたくと考えております。また、工業科については「グラフ2」にて示したとおりですが、4年制大学と専門学校とを合わせた進学割合が「68%」で、就職割合の「32%」を大きく凌いでいます。進学するにしろ就職するにしろ、そこには「整合性」のある進路選択が為されなければなりません。これから「自分を知る」「社会を知る」ための指導に注力していきたいと考えております。

大学合格状況は「表1」に示したとおりです。早慶が出なかったのは残念ですが、私立大学は、ここ数年間は上位校に安定的に合格者を輩出することができております。ただ、特選コースの総人数の減少に伴って、国公立大学の合格者も振るわない現状が見

【表1】 令和6年度 大学合格実績

国公立大学	人数
山形大学	1
琉球大学	1

私立大学	人数
東京理科大学	3
学習院大学	3
明治大学	3
青山学院大学	2
中央大学	6
法政大学	5
成蹊大学	1
武蔵大学	3
明治学院大学	6
國學院大學	3
芝浦工業大学	1
日本大学	12
東洋大学	12
駒澤大学	12
専修大学	4

他 多数の
大学に合格！



えます。生徒に対する指導はもちろんですが、指導者側も反省しながら特に教科指導に関して研鑽を積んでいかなければならないと感じます。

就職について特筆すべきことは、「京浜急行電鉄株式会社」・「東海旅客鉄道株式会社新幹線事業部」・「株式会社関電工」・「日産自動車株式会社」・「JFEエンジニアリング株式会社」・「日本冶金工業株式会社」・「永岡電設株式会社」など、生徒たちが在学中に獲得した専門知識を活かせる就職を実現

現できていることです。面接指導をはじめ、多角的にご指導くださった先生方にも心より感謝申し上げます。

本校では「整合性のある進路指導」を心掛けております。点的な生活を繰り返して「将来をなんとなく決める」ことをなるべく廃し、生徒が未来の自分と現在の自分とを線で繋げるようにしていかなければなりません。保護者にも協力を仰ぎながら、これからもその目標に向けて揺るぎなく努力していく所存です。

令和6年度 もりこう会寄付金(敬称略)

令和6年度 もりこう会 決算書

(自:令和6年4月1日~至:令和7年3月31日)

決算書は総会で配布します。
これまでは会報にも掲載していましたが、
今回から総会の承認をもって
後日ホームページに掲載いたします。

令和6年度 潮の光奨学基金寄付金(敬称略)

本誌では掲載しております

寄付者の皆様、ご協力ありがとうございました。



同窓会役員名簿

会長…矢内 英彦 情報技術科
 副会長…渡辺 亮 電気科
 副会長…秋葉 美典 機械科
 会計監査…西山 慎吾 機械科
 会計監査…須山 健二 情報技術科
 常任幹事…勝島 憲三 電気科
 常任幹事…山本 隆彦 電気科
 常任幹事…十文字 幸雄 情報技術科
 常任幹事…浅沼 徹 電気科
 常任幹事…根日屋 諒 総合技術科
 常任幹事…網川 英樹 電気科
 常任幹事…緑川 絵梨 普通科
 常任幹事…霜島 寛仁 情報技術科
 常任幹事…新谷 駿貴 総合技術科
 常任幹事…早坂 健太 電気科
 顧問…大谷 正勝 電気科
 相談役…東野 武雄 電気科
 事務局長…百瀬 浩一 電気科
 事務局員…猪狩 清 普通科



令和7年6月1日現在



キャリアセミナー

講演日…令和6年11月20日(水)

7時間目

今年は1学年と2学年を対象に活躍されている先輩方を母校にお招きし、普通科・工業科各クラス対象に進路選択のアドバイスや貴重な経験談などを約40分間に亘って講演していただきました。

写真は各クラス内の様子の一コマです。



卒業生の広場

母校、学園祭開催に併せて、同窓会（もりこう会）も毎年「卒業生の広場」を開設し来校された卒業生の語らいの場所として利用されております。令和6年度の学園祭は6月22日（土）・23日（日）の2日間で行

われ、卒業生が多く訪れてくれました。来場された卒業生にはドリンクとお菓子を提供しました。

今回も、ハンドメイド同好会の生徒たちが手伝ってくれました。ありがとうございました。

これからも多くの卒業生に来ていただけるように、企画を検討したいと思っています。

（事務局より）



卒業生便り



2012年3月総合技術科卒業

（平成23年度卒業）

新谷 駿貴

平成24年に総合技術科を卒業しました新谷駿貴です。高校時代は3年間おもちゃの病院で活動し、他の学校や授業だけでは得られないような貴重な経験をさせていただきました。

大学卒業後は自動車の外装設計などを経て、現在は電子部品の設計開発に携わっています。時には海外で仕事をすることもありますが、高校で得た知識や考え方が今でも仕事で役立つことが多く、改めて当時の学びに感謝しています。

昨年からもりこう会の役員となり、転機となった母校への恩返しのお気持ちで活動しています。

編集後記

もりこう会 会長 矢内英彦

仕事の関係や卒業式、入学式などの学校行事もあり、かなり立て込んでいた3月の時期に会報制作をせざるを得ませんでした。学校の新学期をまたいだ影響で、部活動やボランティア活動の顧問の先生方からの原稿集めに苦労しました。

しかし、皆様のおかげで今回も会報を制作できました。

昨年、木邊先生の錦織寺（滋賀県野洲市）を訪問しました。

木邊先生によると、錦織寺は織田信長や徳川家康にも関わった歴史があり、このころ、二宗兼学と言う特定の宗派に偏らない柔軟な仏教観を持ったようです。他にも木邊先生からいろいろな話をお聞きし、歴史の深さを感じました。

表紙は、JA静岡市様ご協力のもと、米澤理事長先生本家の写真を掲載しました。クオリティーの高い写真を掲載できて嬉しいです。

今年の1月には、過去にもりこう会の事務局員として尽力いただいた芳賀先生とのお別れもあり、いろいろなことがありました。

次号も先生の記事を会報に掲載しようと画策中です。今後ともご期待ください。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきましたJA静岡市様、役員、事務局、先生方には心より感謝申し上げます。



滋賀県の県建造物文化財として指定されている錦織寺のお堂



表紙不採用の矢内作成のイメージイラスト

訃報



芳賀 勝則 先生

旧職員の芳賀勝則先生が令和6年12月に享年70歳で永眠されました。

芳賀先生は昭和49年に機械科を卒業され、自動車部とレスリング部の顧問としても活躍されました。

また、もりこう会の事務局員として、会発展の一翼を担っていただきました。



栗林 廣 先生

旧教員の栗林廣先生が令和7年1月に享年86歳で永眠されました。

栗林先生は自動車部の指導で多大な貢献をされ、生徒の競技大会への参加など、現在の基礎を作っていただきました。



ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



もりこう会ならびに奨学基金へのご支援ご協力をお願いについて

会長 矢内英彦

他役員一同

会員の皆様には、平素より本会諸活動に温かいご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、もりこう会（以下本会と称す）では会報送付時に「本会」ならびに「潮の光」奨学基金へのご支援をお願い致しております。この度も恐縮ではございますが、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、役員一同心よりお願い申し上げます。

- 指定の払込取扱票（赤色）を使用し、郵便局窓口・ATM で「ゆうちょ銀行口座の通帳・カード」扱いまたは現金での払込は払込手数料が無料になります（2024年1月22日以降、ご負担いただいている加算料金を廃止）。
- 同窓会報寄付者名簿への掲載を御希望されない方は払込取扱票に一筆御記入をお願い致します。

★ 卒業生の皆様へ ★

令和7年度 もりこう会 総会・懇親会のお知らせ

- 日時／ **6月28日 土曜日**
- 会場／ 母校 大森学園高等学校
(駐車場・駐輪場はありません)
- 受付／ 午後2時
- 総会／ 開会 午後2時30分
- 懇親会／ 茶話会を行う方向で検討しております
※詳細は同窓会ホームページを参照してください



昨年の総会・懇親会の様子

皆様へお願い

ご出席の方はお手数ですが同窓会ホームページより
手続きをお願い致します

こちらのQRコードからもアクセスできます▶

※ホームページでの手続きができない方は
事務局までご連絡をお願い致します

